

雪国の居住環境変化を考慮した都市防災力の向上

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-11-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Kobori, Tameo メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00067403

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



雪国の居住環境変化を考慮した都市防災力の向上

Research Project

All

Project/Area Number

03201212

Research Category

Grant-in-Aid for Scientific Research on Priority Areas

Allocation Type

Single-year Grants

Research Institution

Kanazawa University

Principal Investigator

小堀 為雄 金沢大学, 工学部, 教授 (20019714)

Co-Investigator(Kenkyū-buntansha)

近田 康夫 金沢大学, 工学部, 助手 (50155298)

宮島 昌克 金沢大学, 工学部, 助手 (70143881)

北浦 勝 金沢大学, 工学部, 教授 (70026269)

鈴木 有 金沢工業大学, 工学部, 教授 (90027235)

Project Period (FY)

1991

Project Status

Completed (Fiscal Year 1991)

Budget Amount *help

¥1,600,000 (Direct Cost: ¥1,600,000)

Fiscal Year 1991: ¥1,600,000 (Direct Cost: ¥1,600,000)

Keywords

雪害 / 居住環境 / 防災力 / 除排雪 / 雪崩 / 屋根雪下ろし / 危険度

Research Abstract

社会環境の変遷に伴って、都市域の雪害の特色も大きく様変わりしている。昭和38年豪雪時と比較すると現在の雪国の特徴として、1)情報通信や自動車交通が社会経済活動の主役となりつつあること、2)旧市街地から新興市街地への住宅化が広がっていること、3)高齢化社会を先取りしていること、などが挙げられる。1)からは、情報通信のあと先には人、物の移動があるので、道路の除排雪が何にもまして必要となっていることを指摘できる。また2)からは、市街に隣接した山の麓へも人々が住むようになり、新しい道路ができるなどして、雪崩が身近な問題となっていること、2)、3)からは、屋根雪下ろしなどが新たな関心事となっていることが注目される。生活水準の向

上とともに雪による生活の不便を人々が許さなくなっており、また生活構造そのものが雪に対してもろくなっている。すなわち、これまでは雪害と考えられていなかった現象が新たに雪害の仲間入りをしている。このような観点から本研究では雪害危険度を最初に定義して、地域別の雪害危険度を評価する手法等を開発した。本研究における成果を要約すると以下のようなものである。(1)都市内各地区の特色を生かしながら、都市が全体として均衡ある発展を期するためには、その地区の本来有している雪害危険度をあらかじめ評価しておくことが基本となる。ここでは、地区の有している特色を取り込みながら、地区別の雪害危険度予測のための評価式を構築するとともに、評価システムを開発した。(2)市街に近い山間部において、過去に雪崩災害の発生した地区を対象に3次元雪崩運動解析を実施した。その結果、当時の雪崩現象をシミュレートすることができた。また、雪崩発生点を種々変えて解析を行ったところ、雪崩の流下経路に一定のパターンがあることがわかった。このことから雪崩防護工の設置位置に関する検討を加えることができた。

Report (1 results)

1991 Annual Research Report

Research Products (5 results)

All Other

All Publications (5 results)

[Publications] 北浦 勝・鈴木 有・宮島 昌克、他2名: "金沢市における地域別雪災害危険度評価(1次災害危険度結果)" 第8回雪工学シンポジウム論文報告集, 147-154 (1992) ▼

[Publications] 池本 敏和・北浦 勝・鈴木 有、他2名: "2次災害に注目した金沢市の雪災害危険度評価" 平成3年度土木学会中部支部大会講演梗概集, (1992) ▼

[Publications] 村田 昭仁・北浦 勝・池本 敏和: "3次元斜面上の雪崩運動解析に関する研究" 平成3年度土木学会中部支部大会講演梗概集, (1992) ▼

[Publications] 鈴木 有、他3名: "都市域の地域別の雪災害危険度評価(その1)―金沢市街化地域への適用(1次災害)―" 日本建築学会大会講演梗概集, 59-60 (1991) ▼

[Publications] 沢田 徹・鈴木 有、他2名: "都市域の地域別の雪災害危険度評価(その2)―評価式の定式化―" 日本建築学会大会講演梗概集, 60-61 (1991) ▼

URL: <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-03201212/>

Published: 1991-03-31 Modified: 2016-04-21